

小児医療ケア研修会

# 小児循環器疾患患者の内服指導の実際と退院指導について

2022年6月24日（金）

---

神奈川県立こども医療センター ハイケア救急病棟2 勝間忍

# 目的

---

- 小児循環器疾患患者の内服に関する注意点や配慮・工夫するべき点が解る

# 内容

---

- 発達段階別の内服方法
- ワーファリン内服児の退院指導
- 利尿剤内服児の退院指導



## ● こどもの内服方法

---

こんなことで困ってませんか？

味を嫌がる

飲んでくれない

吐いてしまう



薬が水に溶けない

## ● 内服方法

---

- 心不全コントロールのため**長期間必要**
  - 内服の味が苦手とするこも多い
    - アルダクトンや漢方：独特な味
    - ナトリウム：塩味が強い など
- 入院中より内服の練習が必要**

## ● 内服薬の溶解方法

---

- 漢方などが溶けにくい

✕ 薬袋の上から潰す→袋が破ける恐れ

○水に浸けて数分置く

※胃管投与：詰まりの原因になるため良く溶かす

- 錠剤の溶解

→簡易懸濁法を用いる

簡易懸濁法：55度のお湯（約水1：熱湯2）に10分浸ける



## 乳児期の特徴

---

- 新生児にも味覚が存在する
- 母乳から人工乳に変更するとミルク嫌いになることがある
  - 薬の味がわかる
  - 味の違いでミルク嫌いになる可能性
- 新生児は下部食道括約筋が未発達で胃の形態も縦長
- ネーザルハイフローを装着すると吞気が増える
  - 内服後に嘔吐をする可能性

## ● 乳児期の内服方法

1～2 ml程度の少量の水に溶く

空腹時に以下の方法で行う

- 空乳首を使用する
  - スポイトで投与
  - シロップを追加する
  - 水で伸ばして団子状にして口腔内壁に塗る
- 吐きやすい場合は内服30分後に哺乳を行う



**ミルクに混ぜない！！**



## 幼児期の特徴

- 自我の発達に伴い偏食や食べ遊びなど問題が生じる
- 自己主張が強くなり、親の意見に反対し、思いどおりにならないと激しく泣く

第一次反抗期：通称イヤイヤ期

→内服を嫌がる

→内服方法にこだわる

- 入園する時期

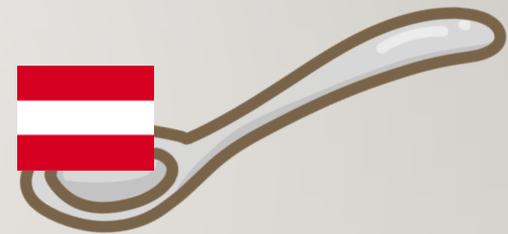
→昼の内服をしてもらえないことがある



## 幼児期の内服方法

★自宅での内服方法を確認する

- スポイトで投与
- シロップの追加
- 内服後にジュースを飲む
- 市販の内服ゼリー
- アイス
- ヨーグルト
- 内服を分3から分2に変更可能か医師へ相談する



**混ぜない！  
薬を挟むように**



## 学童期の特徴

---

- 味覚も嗜好の幅も広がっていく
- 知的発達し批判力や問題解決能力、創造的思考力も  
9～12歳で著しい発達をする
  - 説明により薬の必要性が理解できるようになる
  - 問題解決策を共に考えることができるようになる



## 学童期の内服方法

---

- ★自宅での内服方法を確認する
- 錠剤での内服が可能か確認する
  - 錠剤の大きさにより飲めないこともある
  - 内服調整時期には錠剤に変更できない
- 内服拒否が強い際には**話を聞き、納得して飲めるように共に考える**

## ● 思春期・青年期の特徴

- 第二次反抗期が始まる
- 基本的な情報処理を行う知的機能はほぼ完成する
- 目に見えないものについても抽象的・論理的に思考が可能

→自分の病気を知る

→内服の自己管理を勧める

→移行期支援を行う

当院ではみらい支援外来を設立し  
成人移行期支援をサポートしている



## ● ワーファリン内服児の注意点

---

こんなことで困ってませんか？

飲み忘れたら  
どうしよう

ネットに食べ  
たらいけない  
物がいっぱい!!



体育は出て  
もいいの？

血はどうやっ  
て止めるの？

# ● ワーファリン内服児の注意点 1

---

- 転倒転落や易出血について入院中より説明を行う
- 止血はしっかり押さえる→**止まるまで**
- 内服を確実にを行うため飲ませ方の工夫
- 飲み忘れた時の対処
  - その日のうちであれば飲む**（過剰内服の回避）

## ● ワーファリン内服児の注意点 2

---

- **禁忌**について説明をする→当院では納豆のみ
- 胃腸炎などの症状があるときは内服しない  
→**効き過ぎてしまうため内服前に受診**する
- 皮膚の状態を日々観察する（紫斑や腫脹の有無）  
→**紫斑が増える**場合は医師へ相談

## ワーファリン内服児の退院指導〈乳児期〉

---

- 転落に注意する
  - ベット・ソファ・歩行器・バギー・階段
- 高い高いにも注意

## ワーファリン内服児の退院指導 <幼児期>

動きが活発になり、自分で危険が判断できないため  
注意が必要

<入院中の工夫例>

- ・ ベット柵を保護をする（スポンジ・マットレスパットなど）
- ・ 低床かつ高い柵のベットを使用する
- ・ 手すり付きの椅子を使う

目を離さない

転ばせない：移動時は必ず手を繋ぐ

バギー乗車時：必ずベルトをつける



## ワーファリン内服児の退院指導＜学童期＞

- 転ぶ、ぶつけるなどをしたら親に報告する
- 動揺歯が抜けた際は止血をしっかりとる
- 鼻出血を来たしやすい児童は**止血方法を覚える**  
→親がいない時でも止血できるように方法を覚える
- 体育などについては別途医師から説明を受ける  
→**学校生活管理指導表**を用いて学校での活動について学校に指示をする

## 学校生活管理指導表とは

---

- 学校での対応について書かれた診断書代わりに書類
- 毎年提出が必要
- 運動強度が『軽い運動・中等度の運動・強い運動』の3段階に分かれておりそれを運動領域別（陸上運動・水泳など）に表している

	軽い運動	中等度の運動	激しい運動
陸上運動	ウォーキング 軽い立ち縄跳び	ゆっくりとしたジョギング ケンパー遊び	全力かけっこ

## ●利尿剤内服児の注意点

こんなことで困ってませんか？

お尻が赤くなっ  
ちゃいます

小学生になっ  
たのにお漏ら  
しが続きます



おしっこが減  
るって測った  
らいいの？

## 利尿剤内服児の退院指導 <乳児期>

- 尿回数を把握し、尿量減少がわかるようにする
- 頻回な排尿によりオムツかぶれを起こすことがある

→軟膏を使用し予防する

少量の尿でも不快感を感じ過敏となる乳児が多い



## 利尿剤内服児の退院指導 <幼児期>

- 排尿回数の把握する
- トイレトレーニングを行なっても夜尿などオムツが取れない事が多い
  - 薬剤による影響でもあるため

**焦らない様に説明する**

## 利尿剤内服児の退院指導 <学童期>

- 通学に時間を要することもあり移動時に尿意を催すことがある

学校に行く間にトイレに行きたくなる

小学生  
Aちゃん



高校生  
Bくん



電車に乗ってる時にトイレに行きたくなると困る

起きてすぐに薬を飲むよ



学校・病院に着いてから薬を飲むよ

## 利尿剤内服児の退院指導 <学童期>

- 授業中に思わぬ尿意を催すことがある
- 夜尿などが心配でオムツを使用していることもある

→学校に説明が必要

**自尊心を傷つけない様に対策する**

# 頑張っているきょうだい・家族にも声かけを

---

- 入院中に預けられる
- 病気のきょうだいだけが薬のため  
に甘いものを食べていることもある  
→**きょうだいの頑張りを認める、話を聞く**
- 『内服が辛い』『虐待みたい』と話す家族もいる  
→**家族の思いを傾聴する**



# 頑張っているきょうだい・家族にも声かけを

---

面会中に家族が内服練習をできるのは1日1回

→看護師間で少しでも飲める方法を模索し共有する

こどもと家族がストレスなく安全に  
内服ができるように支援を継続していく

